

1 A たり

NO 1 1

朝晩がめっきり寒くなりました。朝の通勤は、いつも真っ白なもやの中です。それでも、紅葉は見事なもので、幻想的な中の通勤もいいものです。久しぶりのMO中の合唱コンクールは、どのクラスも見事なものですばらしかったです。ただその中でも、1学年全体で歌った、学年合唱は、これまでたくさんの1年生を見てきましたが、あんなに綺麗で声のでる1年生はみたことなかったですね。1年生は、変声期を向かえ、なかなか声が出ないものですが、その中でも他の学年に引けをとらない歌いっぷりでした。これからも楽しみです。

前から来るもの、後ろから来るもの

「男子、ちゃんと声出してっが？」

「もっと、まじめに歌ってください！」

Dくんは、学級委員ではあるが、合唱委員でも、指揮者でもありません。けれど、この2週間、自らが先頭に立って、クラスのハーモニー作りにリーダーシップを発揮してきました。

他の生徒たちは、そんなDくんをどう思っていたらう。

わたしは、何も言わずに、その様子をじっと見てきました。

合唱コンクール当日、朝教室にいくとDくんは、なんだか神経質そうな顔をしていましたね。これまでまとめてきたことに不安を抱いているのか、まだまだ緊張状態になっていない男子の様子にいらだちを感じたからか、そんな合唱コンクールの朝だったんです。

☆

☆

☆

合唱は、とっても丁寧な歌いっぷりでした。1年全体合唱の後というハンデイも感じさせず、男子も女子もとってもきれいな歌声でしたよ。

合唱が終わって休憩の時、教頭先生が「A組の女子の歌声はきれいだなー」と、驚いたように話してくれます。

結果は、やはり中間発表会の時から、頭ひとつリードしていたD組の勝ちでした。それでも、相

当がんばって背中を追いかけてきたんです。

☆

☆

☆

表彰式も終わり、教室に戻って、A組の生徒みんなに聞いていきます。

わたし：「A組の合唱がここまでこれたのは、今考えると、誰ががんばってくれたからだと思う？」

Sくんがいます。「Dくんがまとめてくれたから」

Rくんもいます。「Dくんのおかげだ」

女子には全員に聞いてみました。A組の女子は、大人だ。本当に自分達のやるべきことを知っていて、それを一生懸命にやってくれる。ただ、その一方で、男子をどうみていたのかなあ。単純な疑問がわたしにはあったのです。

口々に言います。「Dくんです」

ある人はこうも言ってくれました。「Dくんと、合唱委員のEさん」

また、ある人は「パートリーダーの人たち、そしてみんな」

そうだね、他にも、最初はなかなか指揮が合わなかったけど、練習で克服してくれた、Tくんや、Kくんもいますね。伴奏はっさい点数にならないのに、毎日、家で一生懸命練習して、見事な演奏でコーラスを支えてくれた、MさんやEさん。

生徒に聞きながら、これまでの活動でどんな人がこのクラスを支えてきたのかを確認していきました。

そして、最後にこんな話をしましたね。

『その人の人間性や価値、評価なんて、後になってからやって来るんだと思う。みんな、練習をやっているときは気づかなかったと思うけど、終わったとき、そして振り返ったときに、

「ああ、あの人が頑張ってくれたんだからだなあ。だからここまでこれたんだなあ。」

なんて気づくんですね。

その人がどんな人なのか、そして、このクラスや集団にとってどんな存在かなんてことは、何か

活動が終えたときに、後ろからやって来るものなんです。それはね、どんなに小さな活動でも同じなんです。

ピアノが上手だから、この人は大丈夫！と、やる前に思ったって、その人が練習もせずに本番に望んだら、ピアノが上手であっても、その人はそういう人なんです。

指揮がへたくそであったって、一生懸命それを練習で克服して、本番に間に合わせた人なら、その人はそういう人なんです。

だから、その人はどんな人か？なんてことは、後ろからやって来るの。

合唱コンクールという、この数週間、少なくともクラスの全員がひとつの目標に向かって取り組んできました。そして、今終わったときに、それぞれの人がどんな面でこのクラスを支えてきたかが見えてくるんです。』

人は、認められたい、評価されたいと思う生き物だけど、そのために活動するのは違います。だって、本当にその活動に真剣に打ち込んだら、黙っていても、その人の素晴らしさは後からやって来るんですから。歴史上の人物の功績だって、きっとそのときではなく、後からわかってきたものが多いはずですよ。

でも、前から来るもので、大切なものもあります。それは何か？

それはチャンスです！

チャンスは前からしかやってこない。後から、振り返ってみて、あの時がチャンスだったんだ！って思っても後の祭りでしょう。だから、チャンスがやってきたら、すぐにキャッチしなくてはなりません。今度きたらがんばろう、では、チャンスは絶対にキャッチできませんね。

チャンスは前から、人の評価は後ろから。

そんなことを、合唱コンクールで学べたら最高です。

手洗いで、一緒に来たDくんに言います。

「Dくんありがとう。君のお陰でここまでやれました。」と。

すると、Dくん。「先生、俺なんかより、一生懸命声出してくれた、Yくんの方がずっと偉い。」
と教えてくれます。

Dくんを支えてきたものは、自分の指示に対していつも大きな歌声でこたえてくれたYくんの存在でした。

ご意見・ご感想をお願いします。

[戻る](#)